

GE検索可能な

「かんじゃさんの薬箱」を開設

日本ジェネリック研究会（会長＝武藤正樹・国立病院機構長野病院副院長）は今年から、研究会が運営するジェネリック医薬品情報システム（GIS）上で「かんじゃさんの薬箱」を開設した。薬剤師や医師向けの従来システムに、患者がジェネリック医薬品情報を検索できるシステムを拡充。ジェネリック医薬品の名称を入力すると、同種同規格の医薬品の一覧を見ることができ、販売名の部分一致の検索で、先発医薬

品と後発医薬品の区分に加え、薬価、企業名などを表示するほか、患者が診療を受ける際に後発品処方意思表示を示す「ジェネリック医薬品お願いカード」もダウンロードできる。

同研究会が運営するGISは、医師や薬剤師がジェネリック医薬品を選定するための情報をウェブ上で把握できるシステム。検索システムでは、ジェネリック医薬品と対応する先発品、般名、販売元企業、薬効分類、規格、薬価が一覧で表示される。

詳細データでは安定性、規格試験、生物学的同等性、添加物、注射剤などのデータに加え、同種同規格のジェネリック医薬品との比較システムがあ

る。販売元企業データでは、PMSや学術部門の人数や、MR数、MR認定試験の合格率や総販売品目数なども把握できるほか、都道府県など地域単位でのMR数、緊急連絡先、取り扱い卸業者なども確認できる内容となっている。

同研究会の会員数は昨年3月時点で174人だったが、現在は1050人まで増加。スポンサーとなる企業数も来年度には10社まで増える見込みで、今後もGISユーザーの声を取り入れながらシステム拡充を進める計画だ。